

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 30 年 11 月 19 日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラ・空冷チラーからヒートポンプへの更新及び照明の更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC0707
排出削減事業者名	医療法人 勝久会
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	介護老人福祉施設気仙苑 (岩手県大船渡市大船渡町字山馬越 1 8 8)
事業の概要	本事業は、A 重油ボイラ 2 基及び空冷チラー 2 基の熱源機器を、ヒートポンプ 6 基（エコキュート 3 基、空冷ヒートポンプスクリーンチラー 3 基）へ更新し、照明設備 177 台を高効率型に更新する。省エネルギーするとともに、低炭素燃料を使用することで、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2010 年度：42 tCO ₂ /年 2011 年度：338tCO ₂ /年 2012 年度：336 tCO ₂ /年 2013 年度：233 tCO ₂ /年 2014 年度：239 tCO ₂ /年 2015 年度：249 tCO ₂ /年 2016～2017 年度：256 tCO ₂ /年 2018 年度：228 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 2,177 tCO ₂)

認証期間	開始日 2011年2月21日 終了予定日 2019年2月20日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 方法論番号 006 照明設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2018年6月30日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,506tCO ₂ （2013年4月1日～2018年6月30日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後高効率ヒートポンプ、高効率照明機器は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における電力量計の計測データ、施設の開館記録等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性 電力使用量は電力計の計測データを集計することにより、照明の点灯時間は施設の開館記録等により適切に把握している

	<p>ことを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2013 年 4 月 1 日から 2018 年 6 月 30 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 2 月 20 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、2方法論合計で原油換算 373.7KL であることを確認した。

以 上